

C-1 : 研究力の強化と評価

開催日時・会場 9月18日(金曜日) 9:00 - 10:30 会場B

自然科学分野での効率性の高い研究力評価法

一般的にスポーツ、芸術、産業における可視化された評価指標として、それぞれ「記録」、「受賞」、「売上げ」といったものが使われている。それらの評価指標は競技者・芸術家の進化、販売の促進を動機付けるものとして大きく貢献し、評価指標のベネフィットであった。他方、自然科学分野での研究力指標については、「何が適切か」という議論が永遠に決着する見込みがなく、自然科学分野を進化させることへの動機付けとしての評価指標、というベネフィットに繋がる議論にとどり着かない。

当セッションでは、10年後もさることながら今年・来年の研究力の増強をも重要ミッションとする実務者URAの立場から、ベストでなくとも暫定的に受け入れ可能な自然科学系研究力評価法をどのように決め、それをいかに自然科学分野の進化に向けた研究力増強への動機付けとするかを議論したい。

当セッションに於いて、多様なバックグラウンドの3名の登壇者に話題提供いただいた後、実用的な研究力評価法の具体的な提案に基づいて、報告者、参加者全員を交えた議論を行う。全体を通じた基軸として、評価の「コスト」と「エンカレッジ効果(ベネフィット)」を置き、前者の最小化と後者の最大化を共有目標とする。焦点を絞るため、研究計画の評価でなく、研究成果の評価を中心課題とするが、両者切り離せない側面は了解する。

研究評価に幅広い知見を持ち自らそれを意識した学内施策に取り組む矢吹氏を筆頭として、日米の多様な研究機関での研究評価を体験してきた横山氏のトークが続き、さらに産業界において事業の最適化の観点から評価に関わってきた新岡氏に学術界とは異なる観点からの洞察をいただく。

セッション担当者



加藤 英之：筑波大学 URA研究戦略推進室 副室長

1992年素粒子論で理学博士を取得(首都大学東京)、特別研究員PD(東京大学)。1994年より理化学研究所にて脳の情報処理の研究を始める。2002年よりニューヨーク大学で神経回路の数理的研究を行う。2005年に帰国し理化学研究所BSI 副研究室長を経て、2007年にBSI-トヨタ連携センターで研究室を立ち上げ、脳活動の精密計測に基づく脳型情報処理手法(AI)の開発を行う。2012年より現職。

登壇者



矢吹 命大: 横浜国立大学 大学戦略情報分析室
准教授

筑波大学大学院人文社会科学部研究科単位取得退学。修士(国際政治経済学)。2012年4月より筑波大学大学院人文社会系特任研究員として巨大科学を巡る国際関係の研究に従事。2014年4月横浜国立大学特任教員(講師)・URA。2019年4月より現職。現在URAを兼務し、大学経営戦略に必要な情報収集・分析を主に担当。URAとしては科学技術政策調査、研究IR、競争的資金獲得支援、サイエンスカフェ支援などを担当。



横山 チャールズ: 東京大学
ニューロインテリジェンス国際研究機構
教授

Charles Yokoyama currently serves as Executive Director and Professor for the International Research Center for Neurointelligence (IRCN) at The University of Tokyo where he also manages the IRCN Science Writing Core. Previously he was the Director of Research Administration at the RIKEN Brain Science Institute, and Senior Editor for the journal Neuron at Cell Press. He did postdoctoral work at Cornell University, Ph.D. at the University of Washington, and M.S. at MIT.



新岡 達也: 経営コンサルタント

1986年筑波大学卒業(政治学専攻)。1990年 The Woodrow Wilson School of International Affairs, Princeton University卒業。1997年 The Fuqua School of Business, Duke University卒業。経営学修士。日米両国で起業経験を持ち、2000年に帰国してからはイケア・ジャパンなど何社かの外資系企業のCFO(財務責任者)を歴任。現在独立系経営コンサルタントとして中小企業経営者へのアドバイザー業務を行なっている。